

全校集会 校長講話（6月29日）
テーマ：テストは「自分自身の取扱説明書」

おはようございます。

先週、1学期の学期末テストが終わりました。まずは、これまで一生懸命にテスト勉強という「頭の筋トレ」に励んできた皆さん、本当にお疲れ様でした。テストが返ってきて、点数を見て一喜一憂している人も多いかと思います。

もし、「終わったからもう関係ない」と、返ってきたテストを机の奥にしまい込んでしまっている人がいたら、それは自分の成長のチャンスを自ら捨てているのと同じです。テストというのは、皆さんの優劣を決めるためのものではありません。皆さんがこれまで行ってきた「頭の筋トレ」の成果がどこまで出ていて、どこに「伸びしろ」があるのかを教えてくれる、自分自身の取扱説明書です。

皆さんもよく知っている、世界の発明王トーマス・エジソンは、電球を発明するまでに1万回も失敗したと言われていています。周りから「それだけ失敗して嫌にならないのか」と聞かれた時、エジソンはこう答えました。

「私は失敗したのではない。上手くいかない方法を、1万通り見つけたただけだ」と。
エジソンにとって、上手くいかなかったデータは失敗ではなく、次に進むための大切な「振り返りの材料」だったのです。

本当の「頭の筋トレ」は、テストを解いている時ではなく、まさにこのエジソンのように「テストが返ってきた今、間違えたところをどう振り返るか」の時にこそ始まります。「なぜ間違えたのか」「次はどうすれば解けるようになるのか」をああでもない、こうでもないと振り返り、解き直すそのプロセスこそが、皆さんの脳の筋肉を一番強く鍛え、次の未来の壁をぶち破る基礎体力になります。もし、振り返りの途中で「やっぱり一人では分からない」と思ったら、周りを見回してください。皆さんの前には、頼りになる専属のパーソナルトレーナーである先生方がいます。そして、お互いに教え合える仲間がいます。

1学期も残りわずかとなりました。今週は、返ってきたテストをしっかりと見つめ直し、自分の力で「振り返る」という格好いい当事者意識を持った姿をたくさん見られることを楽しみにしています。

そして、課題を一つずつ乗り越えた先にある、1学期の終わりに、最高の締めくくりを、チーム田辺中みんなで創り上げていきましょう。

以上で、先生の話が終わります。